

指定管理施設事業評価票(平成29年度分)

1. 施設所管課 観光部 足尾観光課

2. 指定管理施設概要

Table with 3 columns: 施設名, 名称, 所在地, 指定管理者, 名称, 代表者名, 住所, 指定期間, 平成27年4月1日 ~ 平成32年3月31日, 5年間, 選定方法, 公募, 評価実施年, 5年間のうち3年目, 施設設置目的, 日光市足尾環境学習センターは、日光市足尾公園条例に定める施設で、観光客の利用の促進を図り、本市の観光の振興及び公共の福祉の増進と生活文化の向上を目的としている。, 主な実施事業, 同センターの指定管理(平成18-21年、平成22-26年、平成27-現在に至る)...

3. 利用状況(目標と実績)

Table with 11 columns: 成果指標, 単位, 平成27年度(目標, 実績), 平成28年度(目標, 実績), 平成29年度(目標, 実績), 平成30年度(目標, 実績), 実績. Rows include 施設入館者数 (15,000 target, 14,869 actual), b, c, d, e.

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

Table with 6 columns: 区分, 平成27年度, 平成28年度, 平成29年度, 平成30年度, 平成31年度. Rows include 収入計 (A), 指定管理料, 利用料収入 (C), 自主事業収入, その他, 支出計 (B), 指定事業費, 内人件費 (D), 内外委託費 (E), 自主事業費, 事業収支 (A-B), 人件費率 (D/B), 外部委託比率 (E/B).

※着色セルは、自動計算としている。

Table with 2 columns: 補足説明, 内容. Row for 補足説明.

サービス改善の状況

高額の修理費用を要する展示設備について、安価で済む代替案を実行して、展示の改善を行った。これにより利用者の便宜を図るとともに、維持・管理費用の圧縮が可能となった。しかし、施設利用者のための駐車場設備(スペース不足、白線かすれ、福祉車両利用許可の看板の追加設置)などに加えて、屋根の雨漏り対策など多額の費用を必要とする件に対する対策を待つ。展示品の大幅刷新のための各所轄担当(市、県、林野庁、国土交通省)との連携の打診をしているが、返信がないので対応ができない。展示改善施策にとって大きな痛手となっている。「前と同じ内容だから」という理由で入館しない来館者がいる状況から、深刻な問題となっている。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	A A B	A A B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B B	B B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B B	B B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B B	B B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B B	B B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B B	B B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B B B	B B B
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】		B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B B	B B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B B B	B B B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B A A	B A A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B B B B	B B B B
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B B	B B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	C
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】		B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	C
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	C
総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】		B	C
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	<p>当会でやっている植樹体験と併せて「見て、学んで、体験できる」環境学習プログラムとして児童・生徒に強い印象を与えることができた。さらに、動物写真家・横田博氏を招いた公演等様々な企画イベントを実施し、利用者に対して足尾の自然に対する理解を深めることができた。</p> <p>また、展示内容が開館当初から変わっていなかったり、機器の故障が多発したりしていることは、利用者数が目標を達成できなかった要因の一つにあげられる。学習センターの存在を知らない人も多く、アクセスを含めて広く周知する方法を作り上げるなど、次年度に向けて改善を図る。</p>			
	(所管課評価)			
<p>足尾地域を訪れる観光客が減少しているなか、学習センターにおいても同様に利用者が減少している。また、管内設備に不具合が多い中、適正な維持管理に動いている。平成29年度の閉館後には、館内の故障設備の改修工事を行っており、今後の利用者離れの減少に期待したい。</p> <p>支出については、これ以上大きな削減は難しいと思われる。今後、館内展示機器等の大規模なリニューアルを実施することも難しいことから、収入を見込むことのできる魅力的な自主事業の実施を積極的に展開し、収入増に努めてほしい。</p>				
別添反転口評 ※5段階評価		C	総合評価 ※3段階評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上		
	B(良好) = A、C以外		
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		